

塩野七生を読む

ローマ人の物語

ユリウス・カエサル

ローマの道はすべてに通ず

古代ローマをもっと知るには

その他小説、エッセイ等

ルネサンスとは何であったのか

男たちへ etc

読んでみたいとは思っているけど、時間がなくて、、、と思う本はありませんか？夏休みにじっくり読む本として、今回は塩野七生さんの著作を紹介したいと思います。

ローマ人の物語

1992年以降、約1年に1冊のペースで刊行され、15年の歳月をかけて完結しています。ローマの始まりから滅亡までが描かれており、各時代の主要な人物にスポットが当てられ物語は進行していきます。読んでみようか迷っている方に、第1巻『ローマは一日にして成らず』にある一説を少し長くなりますが紹介します。

「知力では、ギリシア人に劣り、
体力では、ケルト(ガリア)やゲルマンの人々に劣り、
技術力では、エトルリア人に劣り、
経済力では、カルタゴ人に劣るのが、
自分たちローマ人である、と少なくない資料が示すように、ローマ人自らが認めていた。

それなのに、なぜローマ人だけが、あれほどの大を成すことができたのか。一大文明圏を築きあげ、それを長期にわたって維持することができたのか。またそれは、ただ単に広大な地域の領有を意味し、大帝国を築くことができたのも、そしてそれを長期にわたって維持することができたのも、よく言われるように、軍事力のみであったのか。

そして、彼らさえも例外にはなりえなかった衰亡も、これまたよく言われるように、覇者の陥りがちな奢りによったのであろうか。

これらの疑問への解答を、私は急ぎたくない。人々の営々たる努力の積み重ねでもある歴史に対して、手軽に答えを出したのでは失礼になる。また、私自身からして、まだはっきりとはわかっていないのである。史実が述べられるにつれて、私も考えるが、あなたも考えてほしい。

『なぜ、ローマ人だけが』と。」

全15巻という非常に長い物語ですが、小説なので、肩の力を入れずにじっくりゆっくり読んでみてはいかがでしょうか。



◆ローマ人の物語

タイトル	著者	配架場所	請求記号
ローマは一日にして成らず	塩野七生	大学図・開架	232/41/1
ハンニバル戦記	塩野七生	大学図・開架	232/41/2
勝者の混迷	塩野七生	大学図・開架	232/41/3
ユリウス・カエサル	塩野七生	大学図・開架	232/41/4
ユリウス・カエサル	塩野七生	大学図・開架	232/41/5
パクス・ロマーナ	塩野七生	大学図・開架	232/41/6
悪名高き皇帝たち	塩野七生	大学図・開架	232/41/7
危機と克服	塩野七生	大学図・開架	232/41/8
賢帝の世紀	塩野七生	大学図・開架	232/41/9
すべての道はローマに通ず	塩野七生	大学図・開架	232/41/10
終わりの始まり	塩野七生	大学図・開架	232/41/11
迷走する帝国	塩野七生	大学図・開架	232/41/12
最後の努力	塩野七生	大学図・開架	232/41/13
キリストの勝利	塩野七生	大学図・開架	232/41/14
ローマ世界の終焉	塩野七生	大学図・開架	232/41/15

※文庫では『迷走する帝国』まで刊行されています（Shincho/し 12/51～84）

15巻まではちょっと時間が、、、という方にはこちらがおススメです。



タイトル	著者	配架場所	請求記号
ローマ人への20の質問	塩野七生	大学図・開架	081.2/67/82
痛快！ローマ学	塩野七生	大学図・開架	232/58
ローマから日本が見える	塩野七生	大学図・開架	232/74
塩野七生『ローマ人の物語』の旅	新潮編集部・編	大学図・開架	293.7/10



～ユリウス・カエサル～

「ローマ人の物語」の人物の中でカエサルだけが、タイトルに使用されています。また、カエサルが行ったガリア制覇は、カエサル自身が記録した『ガリア戦記』として、いくつかの翻訳本が出版されています。

◆ユリウス・カエサルとガリア

タイトル	著者/訳者	配架場所	請求記号
ガリア戦記	ユリウス・カエサル/近山金次訳	大学図・開架	081.2/33/379
ガリア戦記	ユリウス・カエサル/國原吉之助訳	大学図・開架	081.2/61/1127
ガリア戦記	ユリウス・カエサル/中倉玄喜訳	大学図・開架	230.1/37
内乱記	ユリウス・カエサル/國原吉之助訳	大学図・開架	081.2/61/1234
ケルト文明とローマ帝国	フランソワーズ・ベック&エレヌ・シュー/遠藤ゆかり訳	大学図・開架	230.1/33
図説古代ローマの戦い	エイドリアン・ゴールズワーシー/遠藤利国訳	大学図・開架	232/60

～すべての道はローマに通ず～

ローマ人の物語では、第10巻にローマの街道、橋、水道等のインフラストラクチャーに1冊が費やされています。有名な「すべての道はローマに通ず」です。以下はローマのインフラについて語った、紀元2世紀のギリシアの哲学者アリストテレスの言葉です。

——かつて、ホメロスは謳った。大地はすべての人のものである、と。ローマは詩人のこの夢を、現実にしたのである。あなた方ローマ人は、傘下に収めた土地のすべてを、測量し記録した。そしてその後で、河川には橋をかけ、平地はもちろんのこと山地にさえも街道を敷設し、帝国のどの地方に住まおうと、行き来が容易になるように整備したのである。しかもそのうえ、帝国全域の安全のための防衛体制を確立し、人種がちがおうと、民族が異なろうと、共に生きていくに必要な法律を整備した。これらのことすべてによって、あなた方ローマ人は、ローマ市民でない人々にも、秩序ある安定した社会に生きることの重要性を教えたのであった——

ヨーロッパを旅行する際は、古代ローマの街道や橋に注目しても面白いかもしれませぬ。

◆ ローマの街道、橋、水道

タイトル	著者/訳者	配架場所	請求記号
ギリシア・ローマ歴史地図	リチャード・J・A・タルバート編/ 野中夏実, 小田謙爾訳	大学図・参考	231/58 ア
古代のローマ水道	今井宏著訳	大学図・開架	232/30
ローマの道の物語	藤原武	大学図・開架	232/29 ア
ローマの道遍歴と散策	藤原武	大学図・開架	293. 09/31
永遠の都ローマ物語	シャイエ文・イラスト・写真/野中 夏実訳	大学図・開架	293. 7A/C31e

～古代ローマをもっと知るには～

「ローマ人の物語」を読み終えた方は、古代ローマ時代に書かれた著作を読んでみてはいかがでしょうか。翻訳本ですが、一部をご紹介します。

◆ 古代ローマ

タイトル	著者/訳者	配架場所	請求記号
ローマ皇帝群像	アエリウス・スパルティアヌス他/南川高志訳	大学図・開架	080/11/26(1)-(3)
英雄伝	プルタルコス/柳沼重剛訳	大学図・開架	080/11/47(1)-(2)
年代記	タキトゥス/国原吉之助訳	大学図・開架	081. 2/33/586
ローマ皇帝伝	スエトニウス/国原吉之助訳	大学図・開架	081. 2/33 ア/697-698
ローマ建国史	リーウィウス/鈴木一州訳	大学図・開架	081. 2/33/1106
ユダヤ戦記	ヨセフス/土岐健治訳	大学図・書庫	227. 5/24/1-2
図説ローマ帝国衰亡史	エドワード・ギボン/ 吉村忠典, 後藤篤子訳	大学図・開架	232/64
ローマの成立	モムゼン/長谷川博隆訳	大学図・開架	232/71/1
世界史	ポリュビオス/ 竹島俊之訳	大学図・開架	232/82/1-3
カティリーナの陰謀	C.ニサルスティウス=クリス プス/合阪學, 鷺田睦朗翻訳・ 注解	大学図・開架	232/85
英雄伝	ネボス/ 山下太郎, 上村健二訳	大学図・開架	283/25

その他小説、エッセイなど

小説やエッセイも古代ローマやルネサンスを背景とした著作があります。短編やエッセイ等は短時間で読めるので、気分転換等にいかがでしょうか。

『ルネサンスとは何であったのか』

古代ローマやルネサンスが背景として描かれた著作が多くありますが、「なぜルネサンスに関心を持ったのか」が手っ取り早くわかる一冊。対話方式を使用して、「ルネサンスとは何であったのか」を解き明かしていきます。

『マキアヴェッリ語録』

要約でも完訳でもなく、マキアヴェッリの著作の「抜粋」となっています。「マキアヴェッリの思想を、彼が対象にした人々に近い条件で、現代の日本人に提供したかった」ために「抜粋」という方法に至ったそうです。マキアヴェッリの「“生の証し”のエッセンス」に触れる一冊。

『イタリア異聞』

前回の展示で『オデュッセイア』という本の紹介がありましたが、第七話に「オデュッセイア異聞」という話があります。この異聞では、「朝帰りするはめになった恐妻型亭主の、壮大な嘘の物語として読むべき」という面白い視点が紹介されています。

『サロメの乳母の話』

「恐妻型亭主」に対して「貞女」ペネロペの言い分を女性の視点から描いた「貞女の言い分」等、11篇から成る短編集。

『男たちへ』

「フツウの男をフツウでない男にするための 54 章」からなるエッセイ。「ステキな男」、「オール若者に告ぐ」、「セクシーでない男についての考察」等、『花椿』（資生堂が発行している月刊誌）に 1983 年から 1988 年に連載されたものが収録されています。タイトルから男性向けと考えそうですが、女性が読んでも十分楽しめます。

◆ 小説

タイトル	著者	配架場所	請求記号
海の都の物語	塩野七生	大学図・書庫	237/17-17A
		大学図・開架	Shincho/シ 12/32-37
ローマ亡き後の地中海世界	塩野七生	大学図・開架	237/98/1-2
コンスタンティノープルの陥落	塩野七生	大学図・開架	239. 9/15
		大学図・開架	Shincho/シ 12/3
ルネサンスの女たち	塩野七生	大学図・書庫	283/6
チャーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷	塩野七生	大学図・書庫	289. 3/68
		大学図・開架	Shincho/シ 12/2
ロードス島攻防記	塩野七生	大学図・書庫	913. 7/884
		大学図・開架	Shincho/シ 12/4
メディチ家殺人事件	塩野七生	大学図・開架	913. 7/886
愛の年代記	塩野七生	大学図・開架	913. 7/887
		大学図・開架	Shincho/シ 12/1
聖マルコ殺人事件	塩野七生	大学図・開架	913. 7/895
レパントの海戦	塩野七生	大学図・開架	913. 7/916
		大学図・開架	Shincho/シ 12/5
サロメの乳母の話	塩野七生	大学図・開架	Shincho/シ 12/11

◆ エッセイ、その他

タイトル	著者	配架場所	請求記号
イタリア異聞	塩野七生	大学図・書庫	237/20
		大学図・開架	Shincho/シ 12/8
サイレントマイノリティ	塩野七生	大学図・書庫	237/22
		大学図・開架	Shincho/シ 12/7
男の肖像	塩野七生	大学図・開架	280. 4/9
わが友マキアヴェッリ	塩野七生	大学図・書庫	289. 3/289
マキアヴェッリ語録	塩野七生	大学図・開架	330. 11/209a
人びとのかたち	塩野七生	大学図・書庫	778/230
		大学図・開架	Shincho/シ 12/10
男たちへ	塩野七生	大学図・開架	914. 7/496
再び男たちへ	塩野七生	大学図・開架	914. 7/584
ルネサンスとは何であったのか	塩野七生	大学図・開架	Shincho/シ 12/31



じっくり読みたい 塩野七生の本
 平成 21 年 8 月 1 日発行
 担当：運用課 米田